

2026 年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第 2 種）

2026 年 2 月 25 日 9 時 30 分～12 時

(注意) 解答は、A・B それぞれ解答用紙 1 枚で解答すること。

科 類	文科二類
-----	------

受験番号	G					
------	---	--	--	--	--	--

※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

税制を巡る議論において、消費税の減税や廃止がしばしば主張される。まず、消費税のメリットとデメリットを整理した上で、この消費税の減税・廃止の是非について、あなたの考えをその根拠とともに論じなさい。

B（出願時に選択した日本語以外の言語で解答する問題）

2015 年のパリ協定では、産業革命前からの気温上昇を 2℃より十分低く保ち、かつ 1.5℃に抑える努力を追求することが合意された。これを受け、多くの国や地域が 2050 年までにカーボンニュートラル（温室効果ガス排出の実質ゼロ）の実現を掲げている。しかし現実には、世界の温室効果ガス排出量は減少に転じるどころか、依然として増加基調にある。そこで、まず温室効果ガスの排出量が増え続けている要因を説明しなさい。その上で、パリ協定で合意された内容を達成するために、どのような政策的アプローチが必要か、具体的にあなたの考えを述べなさい。